

令和5年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2023年7月3日（月） 13時20分から15時30分
2. 開催場所 天竜中学校2階被服室
3. 出席委員 米山英二、齋藤 誠、鈴木滋芳、西尾和史、鈴木景子、中村まゆみ、匂坂典男
（敬称略） 伊藤武司、伊藤太一（学校支援コーディネーター）
4. 学 校 野秋愛美（校長）、神谷利之（教頭）、山城百孝（教頭）、鈴木美音子（主幹）
鳥居ひろみ（2年学年主任）、袴田敦士（生徒指導主事）、佐野正已（CSディレクター）
5. オブザーバー 西澤幸次郎（天竜協働センター長）
傍聴者 なし
6. 会議録作成者 CSディレクター 佐野正已
7. 会長あいさつ <詳細略>
8. 校長あいさつ <詳細略>
9. 教育委員会から
○年度末の学校運営協議会の自己評価についての説明（掘田指導主事） <詳細略>
10. 議長の選出
議長は運営評議会会長の鈴木滋芳さんに引き続きお願いすることで全員これを承認した。
11. 前回会議録の確認
○議事録は要点記録として今後少し簡素化を試みる事としたい。（神谷教頭） <詳細略>
12. 熟議
 - （1）生徒の様子について（授業参観を通じて）
 - （2）職場体験 2年学年主任
 - （3）いじめアンケートの結果より 生徒指導主事
 - （4）地域ボランティアについて 神谷教頭
 - （4）学校部活動の地域移行について 野秋校長
 - （5）桜並木の保全活動について 神谷教頭その他
 - （1）上靴の変更について
 - （2）今後の予定
13. 会議記録
司会の神谷教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議は成立の旨報告があった。オブザーバー参加1名（天竜協働センター長）

熟議（1）生徒の様子について

- ・授業の様子から学校全体が落ち着いた環境にあると理解した。挙手して積極的に発言しているのはよい。（齋藤委員、鈴木景委員、中村委員）
- ・翔龍祭について楽しそうに話し合いをしている様子や担当者の説明で自主性がうかがえてよかった。1年生の道徳の授業で生徒と先生のやりとりは活気がありとてもよかった。（匂坂委員）
- ・道徳の授業は落ち着いてやっていたが、もっと元気よくやっても良いと感じた。（伊藤武委員）
- ・多様性を認めることは人の意見を聞き自分の意見を言う事が大事で、そういう意味で更に意見を自由に言える環境にしていくことが大切だと感じた。（伊藤太委員）
- ・コロナ渦の前も後も落ち着いて授業に臨んでいるのは良いと思った。（西尾委員）

- ・授業で生徒が自分の意見をもっと積極的に言えるようになるといいと思った。展示物は丁寧に作られていて良い物がたくさんあり好感が持てた。（西澤協働センター長）

(2) 職場体験

○自治会連合会扱いの職場体験は添付資料のとおり 16 事業所で受け入れの意思を示していただいた。大変感謝している。そのうち、時間帯や体験の内容など天中の要望に合致する 13 の事業所で、約 64 名の生徒受け入れをお願いする予定だ。また、これとは別に学校側から直接お願いしている事業所もあり、この分を含めると 2 年生のほぼ全員の受け入れが可能との見通しでいる。また事前の職業講話（7 月または 9 月実施）についてはジュニアアスリート浜松が引き受けてくれたので、一括でお願いする方向で調整している。（鳥居学年主任）

→学校支援CDから自治会を通じていろいろ動いていただいた。全体を通じて去年の事業所数に対して少なめなので、要請があれば自治会連合会を通じて再度督促してもらう。

（鈴木滋委員）

→今年度は去年の「職場訪問」に対して「職場体験」でお願いしているので、引き受けていただいた事業所は昨年と若干異なる。現時点ではほぼ見通しがたっているが、調整が必要な時は学校支援CDに相談したい。（神谷教頭）

(4) 地域ボランティアについて

○前回の会議で作成していただいた応募用紙で受け付けた案件は別紙の通り。（うち鍛冶町通りの花飾りは直接受付分）担当は村松眞子先生 <詳細略>（神谷教頭）

- ・「子育て支援広場(未就園児対象)」は現在東区の 5 つの保育園で実施しているが、ある中学校から保育園側に 1 日保育で派遣する生徒のボランティア保険加入の有無を確認された。保育園側はその対応に戸惑っている。この場合負担するのは参加する生徒側かと思うが、どちらの負担か一般論として検討していただきたい。（鈴木景委員）

→自治会のイベントでは募集をかける自治会側の傷害保険で対応するが、ボランティアで出向く生徒に対して出向く生徒側で負担するのか？（鈴木滋委員）

→生徒ボランティアの場合、多くは募集をかける（受け入れ）側が保険をかける、あるいは、事前説明会等の場で参加者が保険に入れるように手続きを行うというやり方が一般的かと思う。（野秋校長）

→募集の形によって負担先が決まるのでは？例えば生徒の研修の一環であれば学校側であるし、保育園側でボランティア募集するのであれば保育園側での負担となるのでは（齋藤委員）

→今後は個々の事情によって負担先を決めていくことになることが予想される。（鈴木滋委員）

(3) いじめアンケートの結果より

○6 月に第 1 回のいじめアンケートを実施した。詳細は添付資料参照 記名欄はあるが未記入でも構わないとしている。ほとんどの生徒は記名してくれている。そのため速やかに対応できている。今回のアンケートでいじめに関わる記載があったのは 5 件、その内訳は「ひやかし」や「無視されたこと」であった。以前は実際にいじめられた当事者からの申告が多かったが、今回は周りから見えていじめなのではと教えてくれるケースが増えてきた。本校では命に関わるような大きないじめはない。（袴田生徒指導主事）

- ・いじめアンケートは生徒に対してだけやっているのか？（齋藤委員）

→生徒向けにやり生徒に書いてもらっているが、家庭に持ち帰っての作業なのでご家庭の判断も入っていると考えている。(袴田生徒指導主事)

・天中ではいじめに対する生徒の意識が高まっているような気がする。(伊藤太委員)

(5) 休日の学校部活動の地域移行について

○文科省の方針として令和8年8月までを地域移行推進期間とおき、この期間中に休日の部活動を、順次地域クラブ活動に移行していくとしている。浜松市は今年度設置した**地域クラブ活動協議会**(令和5年に設置)で運営団体/実施団体、指導者、活動場所、大会、費用、保険、学校との連携の各テーマについて検討を進めている。部活動は教育課程外のもので、授業や翔龍祭/華龍祭の様な学校行事とも違う。部活動指導員と外部指導者の違いについて、また部員減少に伴う合同チーム規定等の説明があった。<その他詳細略>(野秋校長)

・部活動での指導は教育課程外ということ初めて聞いた。(匂坂委員)

→こうした記述は平成29年版の学習指導要領で初めて記載されるようになった。(野秋校長)

・先生の副業は認められているか?(伊藤武委員)

→教師(公務員)の副業は認められていない。「兼職兼業」という仕組みはあるが、認められるのは難しい。(野秋校長)

(6) 桜並木の保全活動

・桜並木の管理を地域との共同事業とすれば、地元自治会も草刈り等で支援ができると思う。(伊藤太委員)

・樹木の剪定等については単年度ごとに中学校側から教育委員会に働きかけをしていく。(神谷教頭)

— 熟議の内容は以上 —

その他

(1) 上靴の変更について

○現行の上靴(アシックス社製)は来年度を最後に製造・販売から撤退するとの連絡が急にあり、現在販売業者と共に代替品の検討に入っている。新しい上靴の決定は7月末とし、10月から新しい上靴の販売開始を検討している。(神谷教頭)

(2) 今後の予定

○次回の協議会の日程についてはアンケートで委員各位のご都合を確認したので、それをもとに決定したい。(神谷教頭)